

週報

今月のテーマ 会員増強・新クラブ結成推進月間
第1583回例会 2019年8月29日 Vol.34/No.8

■本日の例会 / 第1584回 令和元年9月5日(木)

- 会長・幹事報告 ●各委員会報告・各委員長
インターアクト委員会 岡田圭史 委員長
- 米山奨学生奨学金授与式
- ロータリー情報プログラム・ロータリー情報・研修 田島直也 委員長
- 会員卓話・西橋龍博 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数…………… 55名
- ・出席者…………… 38名
- ・欠席者…………… 17名
- ・出席率…………… 69.09%
- ・8/8の修正出席率… 77.78%

■会長挨拶

篠原英介 会長



2か月が終わりました

今年度も、7月のトライアスロン大会、交換留学と2つの恒例行事を終え、本日の海洋高校模擬面接で2か月を終えます。その面接の体験をお話します。まず、バブル絶頂時の学生アルバイトの面接では、お盆と正月に帰省する、というだけで良い条件の所では相手にされませんでした。当時、私のような地方出身学生はコンビニや居酒屋、引越業者等、まさに今、都内の外国人労働者が主として働いている業種に就くしかありませんでした。就職面接についてもバブル後半独特のアトラクション付き選考の企業が多く、学友からいろいろな体験を聞き、驚いたものです。自分自身の面接は、待合室で12名ほどが円卓を囲む形の雑談で時間を過ごし、30分後に「さあ、お集りのみなさん、左隣の人の紹介をしてください!」というのを合図に時間無制限で他己紹介を実施、それで終了、、というものでした。今というコミュニケーション能力の判断だと思のですが、両隣と話しをしておかないと、左隣の学生の紹介は出来ても右隣の学生からは紹介してもらえない、怖いものでした。奇跡的な偶然も手伝い、その後役員面接を経て無事合格することが出来ました。その一方で、役員面接で最終エントリー者18名のうち落ちて1~2名、という会社で落とされた経験もしました。今では良い思い出です。本日の模擬面接は、私たちおじさんにとっても、今の高校生たちと直に接することのできる貴重な機会です。成功させ、継続していくべき行事だと考えています。

最後に、この2か月間の出来事と言えば、日韓の外交問題、あおり運転、北部九州の水害と、暗いものが挙げられます。私自身、公私に渡りどれも身近な出来事でした。月が変わってツキも変われば、と考えています。

■幹事報告

江口健一 幹事



台湾との地区同志で結ぶ姉妹地区契約に関して、異論ありませんか?という問いが来ています。

今回の手続きは、あくまでも地区が先行して決定したことであります。地区内のクラブに周知する程度の内容ととらえていただきたいと思います。

期日の関係で、理事会で承認した次第です。何かご質問がありましたらご一報下さい。

■広報・雑誌・IT委員会

黒木陽子 委員



広報・雑誌・IT委員会では、松田委員長のアイデアで、毎月「ロータリーの友」からトピックスを一言ご紹介するようになりました。どうぞよろしく願いいたします。

今月8月号は、2点ございます。まずは、表紙の「ハリ・ラグルス」さんです。

ロータリーソングを導入した方で、ポール・ハリスが紹介した「5番目の会員」だそうです。

次に、“この人を訪ねて”の「佐藤寿美」さんです。宮崎ロータリークラブ会員で、現在は宮崎県立劇場館長としてお名前が通っていますが、もともとはNHKの辣腕プロデューサー。なんとNHKパリ特派員時代に女優：岸恵子さんをキャスターに起用したり、「クローズアップ現代」をつくられたとのこと!驚きでした。

8月号は、佐藤さんの特集でロータリーの友をより身近に感じました。ぜひ、ご覧ください。

■ 青少年交換留学事業

田中 寿 委員長



今年も台北の龍山ロータリークラブとの交換交流を行いました。

残念ながら、今回は龍山 RC からの派遣はありませんでしたが、来年以降も継続することを確認しております。当方からは、昨年に続き宮崎海洋高校の2名の生徒さんを派遣いたしました。基本的には当クラブの会員の子弟を派遣する事で始めた事業ではありますが、該当する若者がいないということで、宮崎海洋高校の生徒さんを派遣したものです。

この訪台が若い二人にとって大きなインパクトをもたらし、今後の彼らの人生にとって、何かしら役に立つものであることを確信しております。

今回、国際奉仕委員会・インターアクト委員会の担当ではありますが、国際奉仕委員長である私が不在のこと多いため、会長幹事そして西川副 SAA にも多くの時間を割いていただきました。お詫び申し上げるとともに感謝申し上げます。

■ 宮崎海洋高校

綿島陽暉 君 中野陽稀 君



■ 会員卓話

松浦愛子 会員



若き日の思い出

今日は昭和 38 年私が 22 歳のことをお話します。同志社女子大を卒業して宮崎に帰ってきました。母親が貸衣装を経営しておりましたので、帰るとその加勢が待っていたのです。

その年の 4 月には父親の市会議員の選挙も控えていました。運の悪いことにちょうどその頃、父親は肝臓を悪くして、立候補どころではなかったのです。

当時の市会議員の選挙は、日ごろ飲ませ食わせして一票一票の積み重ねで普段が大事なんです。そうし

て努力していたのに4年に1度の肝心な時医者に止められたのです。諦めきれずに私に白羽の矢をたてたのです。健気な娘として選挙カーに乗ることになりました。

今のウグイス嬢のはしりです当時は運動員という呼び名でしたが、当時の車は軽自動車より4トン車より小さいそんなトラックの荷台に運動員はずっと立ちばなしで10日間朝7時から夜7時まで父の友人2人と私、計3名が代役を務めました。道路は舗装されていないデコボコ道でまだ信号機もなくロータリーが県庁の角と山形屋の角2ヶ所だけの京都から帰ってきたばかりの私には、田舎の風景そのままでした。

宮崎市初めての女性運動員として、ずいぶん珍しがられました。母は「これではお嫁さんの話はなくなる」と嘆いていましたが、それでも立候補者の半分くらいの成績で当選したのを覚えています。当時は旧市内だけですが、今は佐土原、高岡、田野、清武と範囲が広がって気の毒な気がします

以上、このウグイス嬢物語にはおまけがついておまして山形屋前でたまたま通りかかった松捕の祖父が「こんな勇ましい子はうちの孫の嫁にいい」というわけで私は松浦回漕店の鬼嫁になりました

■ 出席委員会報告

外山政典 委員

◆8/8メイクアップ者名 (敬称略)

坂本弘史、新地康宏、長岡紀行、西部雅子、山川 力渡邊 勝、押川紘一郎、久保山洋一、小村賢一郎志戸本和孝

ハッピーボックス (敬称略)

●久保山洋一…右肩の手術を7月中旬に受け、6週間の入院から昨日退院いたしました。不在中フェロシップ委員会の皆様にはご迷惑をおかけしました。本日からしっかり活動したいと思います。

入院しないように心がけ、体に気を付けて生活したいと思います。

●新田敬介…前日、飲みすぎて、たおれてましたら、花たばが、とどきました。結婚祝い有難いのですが、日曜日花たばは、平日にしてもらいたいものです。